

## 第 6 回パークレンジャー養成講座

「地域の景観・歴史・文化を学ぼう！」 講師：嘉名 光市  
東原 直明



第 6 回パークレンジャー養成講座を行いました。後半の養成講座は studio-L の山角が司会をします。この日は 33 名の受講生が集まり、楽しく講義を受けました。

### 1. 前回の振り返り

今回は 6 月 8 日以来久しぶりの講座でした。まず前回の講座を振り返りました。

### 2. 講義:景観づくりを学ぼう

大阪市立大学大学院の嘉名先生に「景観とはなにか」、「景観の意味」、「魅力的な景観」、「景観の編集の仕方」、「景観を読み解くヒント」、「景観デザイン事例」等について、わかりやすくお話いただきました。また、泉佐野丘陵緑地の景観の特徴についても、地図を用いて、詳しく説明いただきました。

いい景観には、視点場(見る場所)と視対象(見るもの)の関係性が良い、という条件が必要だということを説明頂きました。場所につけられた名前には景観を読みとるヒントが隠されているということや、歴史や地域の文化も景観を構成する上で重要な要素だということも学びました。質疑応答では、具体的には丘陵緑地の溜池の機能のあり方と景観の関係性についての質疑があり、今後どのような使い方をしていくか考えていく必要があると意見が出ました。



### 3. 歴史資源を巡る

午後はバスに乗って、泉佐野市教育委員会の東原さんの案内のもと、泉佐野の歴史資源を見学しました。今回、訪れたのは、日根神社と意賀美神社の2箇所です。バスでの移動中は泉佐野全体の歴史や車窓から見える景色に関する歴史についてもいろいろと教えていただきました。



### 4. 日根神社の見学

最初に訪れたのは、日根神社です。ここは日根荘遺跡の宝庫です。本殿をはじめ、隣接する慈眼院、井川等数多くの史跡があります。これまでに何度か訪れたことがある受講生の方でも、初めて知ったことがたくさんありました。



### 5. 意賀美神社の見学

次に訪れたのは、意賀美神社です。ここは雨にまつわる神社で全国に同じ名前の神社があるそうです。今回は宮司さんのご好意で、山手に位置する色鮮やかな本殿を間近に見せていただくことができました。また、本殿で使われている檜皮が、神社裏手の林から採取されていることを知ることもできました。



### 6. バス移動・ホームルーム・閉会

バスに戻った後も引き続き古地図や資料をもとに泉佐野市の史跡の解説を聞きました。最後にバスの中で次回の案内などをアナウンスした後、感想シートを記入し終了しました。

#### 《主な感想》

- ・一言に景観といっても、見る人によって感じ方が異なるので一人ひとりの思いを大切に、好奇心や想像を掻き立てるような景観を造らないといけないと思いました。
- ・素敵な景観を見つけ出すこと、景観にあった地名をつけることが大切であると分かりました。
- ・景観を考えるためには、自然との調和を考えることが大切だと改めて気付きました。色々な関係性を考えないといけないと感じました。
- ・景観の意味、視点場・視対象の考え方を知り、今までと違ったものが見えるように思います。
- ・いい景観をつくるためには、地域の歴史の勉強の必要性を痛感しました。
- ・ガイドして頂きながらの史跡めぐりはとても勉強になりました。
- ・地区の歴史を調べたいと思いました。
- ・泉佐野に文化財があることを始めて知りました。

